

業務用電力(500kW未満・実量制)を新設する場合

電気使用申込書

東北電力株式会社 御中

記入例

20XX年XX月XX日

住所 宮城県仙台市青葉区〇〇1丁目〇番〇号

名称 〇〇〇〇株式会社

代表者 代表取締役社長 〇〇 〇〇



貴社の電気標準約款、電気供給実施要綱、下記「東北電力からのお知らせ」および需要場所を供給区域とする一般送配電事業者または配電事業者が定める託送供給等約款およびその他の供給条件等における需要者に関する事項を遵守することを承諾のうえ、以下のとおり電気の使用を申込みます。

需要場所	〒 XXX - XXXX 宮城県仙台市青葉区〇〇1丁目〇番〇号		
申込内容	<input checked="" type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> その他	・(参考)「想定最大電力の算定方法」に記載の計算式により、契約受電設備等の総容量を圧縮計算し、想定最大電力を記入ください。	
契約種別	業務用電力		
契約電力	現在契約 kW	今回申込 kW	増減 kW
		245	245
その他の契約条件			
使用開始希望日	20XX年XX月XX日	業種・用途(製品名)	テナントビル
契約使用期間	月 日から 月 日まで	契約使用時間	時~ 時
需給地点(財産分界点)	<input checked="" type="checkbox"/> 新設・変更 (構内第1柱に施設した気中開閉器の電源側接続点) <input type="checkbox"/> 変更なし		
保安責任分界点	<input checked="" type="checkbox"/> 新設・変更 (需給地点に同じ) <input type="checkbox"/> 変更なし		
電気方式	交流3相3線式	受電電圧 6 k V	周波数 50 ヘルツ
本社住所	宮城県仙台市青葉区〇〇1丁目〇番〇号		TEL XXX-XXX-XXXX
連絡者	設備部 課長 〇〇 〇〇		TEL XXX-XXX-XXXX
料金のご請求先名義	〇〇〇〇株式会社		
料金のお支払方法	<input checked="" type="checkbox"/> 口座振替 <input type="checkbox"/> 契約振込 <input type="checkbox"/> 変更無し		
料金ご請求先住所	〒 XXX - XXXX 宮城県仙台市青葉区〇〇1丁目〇番〇号		TEL XXX-XXX-XXXX
ご使用量のお知らせ(※)	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する		<input type="checkbox"/> 希望しない
	自動検針移行時の配信方法	<input checked="" type="checkbox"/> メール	アドレス 〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.co.jp
		<input type="checkbox"/> FAX	番号
電気主任技術者	宛名 〇〇〇〇株式会社	部署名 設備部 課長	担当者 〇〇 〇〇
電気工事会社	会社名 株式会社〇〇〇〇	TEL XXX-XXX-XXXX	
	住所 宮城県仙台市青葉区〇〇1丁目〇番〇号		
	担当者 工事部 〇〇 〇〇	TEL XXX-XXX-XXXX	
廃止取次ぎ	<input type="checkbox"/> 希望する	契約番号	
		供給地点特定番号	
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 単線結線図 <input checked="" type="checkbox"/> 使用区域平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 負荷設備一覧 <input checked="" type="checkbox"/> 受電設備一覧 <input checked="" type="checkbox"/> 高調波流出計算書		
備考	(お申込み内容、増減理由等) テナントビルの新設		

※お知らせをご希望されない場合は、ご請求内訳書で使用電力量等を確認することが可能です。

「東北電力からのお知らせ」
・ご記入いただきましたお客さまの個人情報につきましては、電気事業をはじめとする当社定款記載の事業の適切な遂行のために必要な範囲で利用いたします。
・個人情報の利用目的につきましては、当社ホームページ(<https://www.tohoku-epco.co.jp/>)でも確認いただくことができますので、あわせてご覧ください。

使用開始希望日以降1年間の電力使用計画

使用開始希望日 2022/4/1

色付け箇所のみ入力をお願いいたします。

開始月	月別	区分	最大電力 kW	電力量 10 ³ kWh	負荷率 %
●	4	受電	245	95	54
		自家補			
		合成	245	95	54
	5	受電	245	96	53
		自家補			
		合成	245	96	53
	6	受電	245	96	54
		自家補			
		合成	245	96	54
	7	受電	245	120	66
		自家補			
		合成	245	120	66
	8	受電	245	121	66
		自家補			
		合成	245	121	66
	9	受電	245	110	62
		自家補			
		合成	245	110	62
	10	受電	245	100	55
		自家補			
		合成	245	100	55
	11	受電	245	98	56
		自家補			
		合成	245	98	56
	12	受電	245	110	60
		自家補			
		合成	245	110	60
	1	受電	245	115	63
		自家補			
		合成	245	115	63
	2	受電	245	118	72
		自家補			
		合成	245	118	72
	3	受電	245	110	60
		自家補			
		合成	245	110	60
計		受電	245	1,289	60
		自家補			
		合成	245	1,289	60

◆月間負荷率の求め方

$$\frac{\text{その月の使用電力量(kWh)}}{\text{契約電力(kW)} \times \text{暦日数} \times 24}$$

契約電力算出根拠

◆年間負荷率の求め方

$$\frac{\text{年間使用電力量(kWh)}}{\text{契約電力(kW)} \times 365 \text{日} \times 24}$$

(注) 1 自家発補給電力をご契約されているお客さまは、自家補の最大電力、電力量もあわせてご記入ください。
 2 「特別高圧」、「高圧500kW以上」、「高圧500kW未満で実量協議減」に該当されるお客さまは契約電力算定根拠をご記入ください。
 3 新設のお申込みで負荷設備電力および受電設備電力が50kW未満で高圧供給を希望されるお客さまは、契約電力算定根拠に適用希望理由をご記入ください。

《留意事項》

- 受電設備および発電設備と単線結線図の記載内容の相違が散見されております。申込前にご確認ください
- 300kVAを超える受電設備を新增設または同容量更新する場合、励磁突入電流関係資料(対策資料や特性曲線等)のご提出をお願いいたします。
- 受電電圧と同位の電圧でご使用される負荷設備についても記載が必要です。
- 2次側が受電電圧と同位の電圧の変圧器、2次側に負荷設備が直接接続されていない変圧器、スコット結線変圧器、予備設備であることが明らかな変圧器は記載対象外です。
- 結線方法が「V-V」(V結線)の場合、「◆V結線群容量計算」で値を算定のうえ、合計容量に記載をお願いいたします。

記入例

色付け箇所のみ入力をお願いいたします。

2. 受電設備

用途	相	電圧(V/V)	容量(kVA)	結線	台数		合計容量(kVA)		
					変更前	変更後	変更前	変更後	
変圧器	三	6000/210	300	Y-Δ		1		300	
変圧器	単	6000/210-105	100	--Z		1		100	
合計								400	
受電設備電力(kW)									245

◆V結線群容量計算 A=電灯電力用変圧器容量 B=電力用変圧器容量

変圧器容量(kVA)	その変圧器に接続される単相負荷設備有無	単相負荷設備容量(kW)	総負荷設備容量(kW)	群容量(kVA)
A				
B				
備考				

コンデンサ	容量(kvar)	台数	
		変更前	変更後
	150		1

◆計算式

(1) V結線(同容量変圧器)の場合

①その変圧器に単相負荷設備の接続がない場合
群容量 = A × 2 × 0.866 = ※小数点以下第一位四捨五入

②その変圧器に単相負荷設備の接続がある場合
C = A × 単相負荷設備容量 / 総負荷設備容量 =
群容量 = (A × 2 - C) × 0.866 + C = ※小数点以下第一位四捨五入

(2) 変則V結線(異容量変圧器)の場合
(A-B) = A - B =
D = (A + B) × 単相負荷設備容量 / 総負荷設備容量 =

①(大-小)がBを上回る場合
群容量 = (-) + (× 2 × 0.866) = ※小数点以下第一位四捨五入

②(大-小)がBを下回る場合
群容量 = (A + B - D) × 0.866 + D = ※小数点以下第一位四捨五入

3. 自家発電設備

発電機種類	電圧	運転形態	容量(kVA)	力率(%)	台数		変更前出力(kW)	変更後出力(kW)	連系の有無
					変更前	変更後			
1. ディーゼル・ガソリン	高圧	非常用	50	80		1		40	無
2. ガスタービン	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
3. 蒸気タービン	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
4. 水力	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
5. 太陽電池	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
6. 蓄電池	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
7. その他()	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
合計								40	

4. 連絡体制(特別高圧で新規に受電のお客さま、または内容に変更がある場合に記入ください。)

連絡窓口	部署	電話	FAX	E-mail
給電連絡				
	一般連絡			
給電連絡				
	一般連絡			

備考

**電気のご使用開始にともなう実量料金制度(契約電力500kW未満)のお客さまの
電気使用申込み時の契約電力欄の記載について**

電気のご使用開始にともなう実量料金制度(契約電力500kW未満)のお客さまの電気使用申込み時の契約電力欄の記載については、下記を参考のうえ記載をお願いいたします。

1.基本的な算定方法

契約受電設備の総容量(単相変圧器を結合して使用する場合は、表1[契約受電設備容量の算定]によって算定された群容量によります。)と受電電圧と同位の電圧で使用する契約負荷設備の総入力(出力で表示されている場合等は、契約負荷設備ごとに表2[負荷設備の入力換算容量]によって換算するものといたします。)との合計に次の係数を乗じてえた値といたします。

最初の50キロワットにつき	80パーセント
次の50キロワットにつき	70パーセント
次の200キロワットにつき	60パーセント
次の300キロワットにつき	50パーセント
600キロワットをこえる部分につき	40パーセント

(例) 契約受電設備の総容量が400kVAの場合の算定式
 $50kW \times 80\% + 50kW \times 70\% + 200kW \times 60\% + 100kW \times 50\% = 245kW$

2.前記1によることが不適當な場合

お客さまから想定最大電力を算出できる資料をご提出いただき、協議させていただきます。

以上

(表1)契約受電設備容量の算定

単相変圧器を結合して使用する場合は、契約受電設備の群容量(キロボルトアンペア)は、次の算式によって算定された値といたします。

(1) ΔまたはY結線の場合

$$\text{群容量} = \text{単相変圧器容量(キロボルトアンペア)} \times 3$$

(2) V結線(同容量変圧器)の場合

$$\text{群容量} = \text{単相変圧器容量(キロボルトアンペア)} \times 2 \times 0.866$$

(3) 変則V結線(異容量変圧器)の場合

電灯電力用変圧器A(キロボルトアンペア)、電力用変圧器(キロボルトアンペア)をV結線にしたとき

$$\text{群容量} = (A - B) + (B \times 2 \times 0.866)$$

(表2)負荷設備の入力換算容量

3相誘導電動機

契約負荷設備	換算容量(入力[キロワット])
高圧誘導電動機	出力(馬力) × 87.8パーセント
	出力(キロワット) × 117.6パーセント